

事務事業	3031	総合窓口設置事業	担当課	総務課	担当係	行政機能向上係
------	------	----------	-----	-----	-----	---------

計画 画期 体計 系画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会 計 款 項 目	
	取り組み方針	550	効率的・効果的な行政運営を行う			
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間  29年度のみ  単年度繰返 年度より開始  期間限定(複数年) 28 年度～ 30 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 窓口利便性の向上のため。わかりやすい案内表示、手続きが一か所のできる窓口、快適で居心地のよい窓口を設置するため。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
	主 な 事 業 費 の 内 訳	千円
		千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 先進地視察、セミナー参加、設計、委託業務。		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・先進地視察 ・セミナー参加 ・予算案作成
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 利便性の高い役場窓口にする

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 視察件数	件	4	1	0 (見込)
イ セミナー参加件数	件	4	2	0 (見込)
ウ				(見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 人口	人	45,662	45,757	45,795 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
名称	単位	28年度	29年度	30年度
ア 役場で不便・不快に感じたことがない人の割合	%	目標	-	46.8
		実績	46.8	未把握
イ		目標		
		実績		
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	2,259	6,326	5,192	3,189		
	トータルコスト(A)+(B)	2,259	6,326	5,192	3,189	0		

## 事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
町長の公約	平成27年8月28日総務大臣通知「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項について」により、窓口業務改革が地方行政サービス改革の一つとしてあげられた。	なし

### (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	設計、予算計上を行い、窓口改修を実施する。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	予算案が否決され予算計上ができなかった。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	まちづくりの目標に戦略プロジェクトに掲載。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	住民ニーズに対応したサービスを提供するために、わかりやすい窓口、便利に手続きできる窓口を設置することにより住民満足度は向上するものであるから。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	窓口改革を実施することで、住民満足度は向上すると考えられるから。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	総合計画が未実施となるとともに、住民サービスの向上が図れない。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	窓口の一部業務で民間委託を検討したがコストは増すから。

### (2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

平成30年度当初予算に予算案を計上するも、予算案が削除され、平成30年度に実施困難となった。

## 3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	住民の庁舎利用の利便性向上に向けて、検討を進める。